

# 1

## J A八戸の自己改革①

### 地域の農業振興に向けた 農家組合員の皆さまへの 農業経営サポートの取り組み

J Aグループでは、「耕そう、大地と地域の未来。」をキャッチフレーズに、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化を柱とする「自己改革」に取り組んでいます。

J A八戸は今後さらに、地域の農業振興に貢献できるよう、農家組合員の皆さまへの農業経営サポートに取り組んでまいります。



### J A八戸自己改革 3本柱

- 農業者所得増大への支援力発揮
- 地域活性化の貢献力発揮
- J A八戸の組織・経営力発揮



### 地域の農業振興に向けた主な取り組み

#### ① 常勤役員・職員による農家訪問

J Aへの要望・生産現場の現状把握・問題点の聞きとりなどを目的に、常勤役員・職員による農家訪問を行っています。月に2～3回、農家を定期的に訪問し、改善点を踏まえた事業運営に今後も務めていきます。



#### ② J A八戸ブランドの確立

主要品目を使ってポスターやポップなど販促資材を作成し、販売促進を行うほか、J A八戸ブランド確立に向け、関東など消費地での積極的な消費宣伝会を開催しています。



#### ③ 担い手・新規就農者(新規作付者含む)を支援

・担い手や新規就農者への営農指導  
・若手ながいも育成塾などの部会による若手研修  
・若手農業者と常勤役員との意見交換会の開催  
多角的な面で担い手・新規就農者をサポートしています。



#### ④ 生産資材で支援

・新規作付者への種苗購入助成  
・土壌診断助成  
・営農団体との座談会

「出向く体制強化」を図り、情報・要望を聞き取り、それらを活かした資材提案や資材の絞り込みを行い、渉外活動による情報提供など、高品質・高収量生産へのサポートを実施しています。



# 2

## JA八戸の自己改革②

### 地域の活性化と暮らしやすい地域づくりに向けた取り組み

JA八戸では、地域の活性化と、皆さまが暮らしやすい地域づくりに向けた取り組みをすすめています。

農業者でなくても、地域に住み、JAの事業を利用することを望む場合、出資をすれば組合員になることができます。こうした地域のなかの農業者以外の組合員の皆さまを、准組合員と呼びしています。

JA八戸は、准組合員の皆さまを含めた全ての組合員の皆さまにとって、なくてはならない生活インフラとして、今後とも役割を果たしてまいります。



### JA八戸自己改革 3本柱

● 農業者所得増大への支援力発揮

● 地域活性化の貢献力発揮

● JA八戸の組織・経営力発揮



### 地域の活性化と暮らしやすい地域づくりに向けた主な取り組み

#### ① 支店と地域のつながり強化

- ・各支店で企画する祭りやビアガーデンなどの「地域ふれあい活動」
  - ・新たな関係づくりを目的とした支店企画旅行
  - ・職員が広報誌を届ける「ふれあい訪問」
  - ・管内6ヵ所で運行する金融移動店舗車による金融サービスの提供
- 継続的なつながり強化を考え、地域に密着した活動を行っています。



#### ② 地域活動の活性化

- ・女性のJA参画や地域活動の重要性について学ぶ女性セミナーの開催
  - ・役職員・組合員の教育文化活動への意識強化を図る教育文化セミナーの開催
  - ・結婚を望む男女を応援する出会いサポート活動
- 教育文化活動、サポート活動を通じて地域活動の活性化に努めています。



#### ③ 子どもたちの食と農について学ぶ環境づくり

- ・1年を通して食と農を体験して学ぶ「キッズあぐり塾」の開校
  - ・農業ふれあい教室やバケツ稲作り体験
  - ・農産物の販売体験や様々な施設を見て回る旅行イベント「わくわく探検隊」の企画
  - ・JA施設での社会科見学や職業体験の受け入れ
- 子供達へ食農教育の機会を提供し、次世代につなぐ活動を行い、農業への理解促進を図っています。



#### ④ JAファンづくり

- ・JA八戸収穫感謝祭
- ・ヴァンラーレ八戸のマッチスポンサー
- ・子供サッカー大会の開催

管内全域にJAをPRするため、JAの取り組みや管内の農産物への理解促進を図り、ファンづくりに努めています。



### 信頼されるJAへ ～JA八戸の組織・経営力発揮～

組合員・地域から信頼されるJAを目指すとともに、組織基盤の拡充や広報活動などを通じ、組合員・地域に寄り添った活動に今後とも取り組んでいきます。

## 1. 農業者の所得増大への支援力発揮

取り組みの名称				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤役員による管内農家の定期巡回活動</li> <li>・担い手との意見交換</li> </ul>				
取り組みの目的・コンセプト				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産現場の現状や問題点を、常勤役員が農家を直接訪問し聞き取りを行うことで、組合員の意見を反映した事業運営を図る</li> <li>・若手農業者からの意見を出しやすい環境づくり</li> </ul>				
参集範囲	正組合員	○	職員	×
	准組合員	×	その他	×
	地域住民	×		
取り組み内容				
<p>1.常勤役員による管内農家の定期巡回活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問者・・・代表理事組合長、代表理事専務、営農常務、経済常務</li> <li>・訪問回数・・・延べ1,000回の訪問を実施</li> <li>・訪問先・・・H29年度は、JAへの出荷量や購買利用量が多い大口農家・未利用・低利用農家対象</li> </ul> <p>2.担い手との意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度からセンター毎3地区に範囲を狭め少数での開催</li> </ul>				
実績（人数・経費等）、効果等				
<p>1.訪問対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大口農家・未利用者・低利用農家合わせて312名を対象。</li> </ul> <p>2.担い手との意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手農業者28名とJA常勤役員・営農担当職員との営農座談会の開催。</li> </ul>				

## 1. 農業者の所得増大への支援力発揮

取り組みの名称				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済部の「出向く体制強化」の確実な実践と、営農団体等との意見交換会</li> <li>・コスト削減資材の普及</li> </ul>				
取り組みの目的・コンセプト				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産資材の価格と営農情報、予約購入の条件が分かりやすく伝わっているかなどの意見聴取し事業の改善や資材コストの削減が可能かどうかの検討を行なう</li> <li>・生産資材の価格の引き下げ</li> </ul>				
参集範囲	正組合員	○	職員	×
	准組合員	×	その他	○
	地域住民	×		
取り組み内容				
1.営農団体等との意見交換会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管内の営農団体等との意見交換</li> </ul> 2.コスト削減資材の普及 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産資材のデザイン及び材質の検討</li> <li>・生産資材の銘柄集約</li> </ul>				
実績（人数・経費等）、効果等				
1.営農団体等との意見交換会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管内5地区にある営農団体等との8回にわたる意見交換</li> </ul> 2.コスト削減資材の普及 <ul style="list-style-type: none"> <li>・共撰用長芋ダンボールの価格18%値下げ実現</li> <li>・肥料の（3銘柄を1銘柄）銘柄集約により3.7%値下げ実現</li> </ul>				

## 2. 地域活性化への貢献力発揮

取り組みの名称				
組合員・地域とのつながり強化のため、支店を基軸とした地域ふれあい活動・支店企画旅行の実施				
取り組みの目的・コンセプト				
組合員・地域とのつながり強化と、地域住民に対してJA事業の理解促進を目的とする				
参集範囲	正組合員	○	職員	○
	准組合員	○	その他	○
	地域住民	○		
取り組み内容				
1.支店ふれあい活動・支店企画旅行 ・開催回数・・・各活動とも年1回 ・対象者・・・組合員・地域住民				
実績（人数・経費等）、効果等				
1.支店ふれあい活動・支店企画旅行 ・各支店とも両活動1回実施済み				

## 2. 地域活性化への貢献力発揮

取り組みの名称				
JA収穫感謝祭・JA主催サッカー大会の開催 子供たち向けに、キッズあぐり塾、ちゃぐりんフェスタ、わくわく探検隊等のイベント開催				
取り組みの目的・コンセプト				
JAや管内の農畜産物のPR活動 次世代を担う子供たちへ食農教育の機会を設ける				
参集範囲	正組合員	○	職員	○
	准組合員	○	その他	○
	地域住民	○		
取り組み内容				
<p>1.JA収穫感謝祭の開催 ・開催時期・・・10月      ・対象者・・・地域住民</p> <p>2.JA主催サッカー大会 ・開催時期・・・11月      ・対象者・・・地域住民</p> <p>3.次世代を担う子供たち向けのイベント開催 ・ちゃぐりんフェスタ・・・収穫体験を行い、県産材料で料理作り ・農業ふれあい教室・・・小学校を対象に、クラスで作物を作付し、それを利用した加工品作り ・キッズあぐり塾・・・作物を作付し、それを利用した加工品作り ・わくわく探検隊・・・県産農作物・県産加工品を県外でPR活動</p>				
実績（人数・経費等）、効果等				
<p>収穫感謝祭来場者数・・・11,000人 JA主催サッカー大会参加者数・・・238人（16チーム） ちゃぐりんフェスタ参加者数・・・年1回開催で30人 農業ふれあい教室開催・・・南部小学校4年生1クラス対象で14人参加 キッズあぐり塾・・・年4回開催で53人参加 わくわく探検隊・・・年2回開催で25人参加</p>				